

超短編^②

「おかげで私もビートルズ通」(20020920)

珍しくお礼のメールが届きました。「先生のおかげでビートルズ通になりました」という。

先生のおかげで僕もビートルズ通になりました。

僕は某マンモス大学で法律を勉強している1年生で、須藤といいます。

「第1ビートルズ同好会」というサークルに所属しております。

第1というからには、第2もあると思われるでしょうが、実はありません。ですが、他にも似たような活動をしているサークルがたくさんあります。

まず、学校が正式に認めているのは「ザ・ビートルズ・クラブ」

これから枝分かれしたのが我が「第1ビートルズ同好会」です。

我が校におけるビートルズの歴史は、長い間この二つのサークルが築いてきましたが、その後、「ビートルズ・ファンクラブ」、「ビートルズ同好会(こっちが本家みたいです)」、「ビート・クラブ」、「ビートルズの部屋」、「ストロベリー・フィールズ」、「レボリューション・ナンバー10」と雨後の竹の子のように出現して、今では学内に8サークルもあり、まさしく飽和状態です。

実は夏休み明けの今月の初めに、ビートルズ関係サークルの大集会がありました。学内でも、二大政党制ではないですが、やはり以前の2サークル時代に戻すべきだ、という声が日増しに強くなっていったようです。

放課後に300名収容の大教室を借りて8サークル、総勢260名の部員のほぼ全員が顔を揃えました。

一応、8サークルの代表者会議ということで、シンポジウム形式で行いました。

議事は滞りなく進んで、最終的には「ビートルズ・ファン・クラブ」以降に立ち上がったサークルは「ザ・ビートルズ・クラブ」か我々の「第1ビートルズ同好会」のどちらかに吸収されることになりました。

さて、会議も終盤にさしかかり、サークルの統合を具体的に進める機関として統合推進委員会を設置することを決めました。

委員は各サークルから選出することになり、我が第1ビートルズ同好会からも1名選出することになりました。

僕は当然3年生か2年生から選ばれるものと思っていましたが、(4年生は就職活動でそれどころではない)なんと私が指名されました。

部長(4年生です。僕が一番尊敬する先輩です。)が皆の前で言った次の言葉が忘れられません。

「皆が帰った後の、誰もいない真夜中の部室で、須藤はひとり『ユー・ノウ・マイ・ネーム』の曲に合わせて踊っていた。俺はずっと見ていたんだ、全身汗でびしょ濡れで、しかも不器用になんどもなんども転びながら、それでもステップを続けるそのひた向きの姿。

俺は猛烈に感動した。久しぶりに気分のいい涙を流させてもらったよ。俺もいろんな曲で踊ってきたし、いろんな奴の踊りを見てきたが、あの曲で踊る奴は初めて見たよ。

正直言って、須藤には完敗したと思ったよ。須藤こそ真のビートルズ通だ。

彼こそ我が栄光の第1ビートルズ同好会の代表に相応しい」

自分でも、僕はシークレット・ブーツを履いた足長くんであることは理解しています。

これから先生の言う通り、ビートルズの曲もたくさん聴くように努力します。

最後に先生にお願いがあります。こっそりと僕にだけ、新しい「黄金の台詞」を教えてください。

よろしくお願いします。

超短編シリーズはフィクションです。念のため